

## 平成 22 年度決算について

### 1、はじめに

平成 22 年度は、青戸新病院の建築資金確保と本院外来棟建築の為の内部蓄積実施を目指して運営されましたが、病院の経営効率化努力と診療報酬改定双方の効果により、帰属収支差額（収益）は予算を大幅に上回る結果となりました。

### 2、資金収支計算書

資金収支計算書では、前年度繰越金は 381 億円でしたが次年度繰越金は 433 億円となり、繰越金は 52 億円増加しました。55 億円の固定資産投資を行いました。主な内容は青戸新病院建築 21 億円、医療器械 18 億円、その他建築資金 11 億円でした。

### 3、消費収支計算書

収入の部では、医療収入が前年度比 49 億円増加しました。主な要因は、手術件数の増加と診療報酬の改定によるものです。医療収入以外でも、地方公共団体補助金や寄付金の増加があり、帰属収入は前年度比 55 億円増加し合計 899 億円となりました。

支出の部では、医療経費が 13 億円増加したこと、また、看護師等の増員による人件費の増加があり支出の部の合計は 833 億円となりました。

この結果、帰属収支差額（収益）は 66 億円となり、前年度比 30 億円増加しました。

### 4、貸借対照表

資産の部では、資金収支計算書に記載した通り、固定資産支出として青戸新病院建築の他 55 億円の固定資産投資を行いました。既存固定資産の減価償却があり、前年度比では 9 億円の増加に止まりました。

負債の部では、固定負債の長期借入金を 10 億円返済しました。

基本金の部では合計額が 1,108 億円となり、自己資金比率が 72%となりました。

### 5、決算開示方法について

(1) 平成 16 年度の私立学校法の改正に伴い、本学の事業報告書、法人誌「The JIKEI」、インターネットのホームページでの決算報告は、文部科学省への届出フォームで開示しております。

(2) 貸借対照表における未収入金は、徴収不能引当金 254,227,376 円を控除して表記しております。

以上